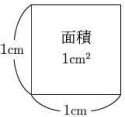
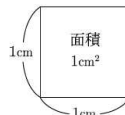


**4年・5年の復習**

- ①ものの広さのことを ( ) という。
- ②面積の大きさを測るときのもととなるものを面積の ( ) という。
- ③面積の単位には、 ( ) などがある。

- ④  が 1こだと→ ( )  
 2こだと→ ( )  
 3こだと→ ( )  
 10こだと→ ( )

・  
・  
・

つまり、 の数が分かれば、そのもの（図形）の面積がわかる。

- ⑤この単位である  $1\text{cm}^2$  や  $1\text{m}^2$  の正方形の数を計算で求められる整った形には公式がある。4年で学習した公式は、次の2つ。

○長方形の面積 = ( ) × ( )

○正方形の面積 = ( ) × ( )

- ⑥5年では、上の公式を利用したりして、さらに次の図形の面積の公式を学んだ。

○平行四辺形の面積 =

○三角形の面積 =

○台形の面積 =

○ひし形の面積 =

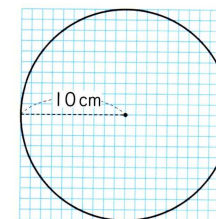
☆P. 22の図形の面積を求めてみよう！（求められるものは？）

**課題**

円の面積の求め方を考えよう！

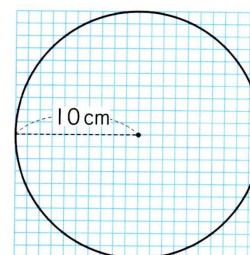
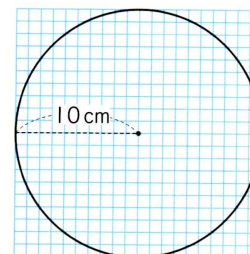
**問題**

右の円の面積の求め方を考えよう！  
 （今までの学習を生かして）



<見通し>

<自力解決（一人学び）>



<全体学習（みんな学び）>

